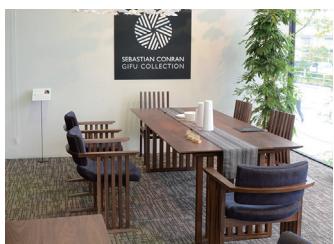


KAGU TIMES

今月は 2017 飛騨の家具フェスティバルの特集です。

SEBASTIAN CONRAN 岐阜の名門とコラボ

日本の岐阜から世界の「GIFU」へと SEBASTIAN CONRAN GIFU COLLECTION のプロジェクトで、家具は飛騨産業が担当。縦格子のデザインはモダンの中にも伝統的な気品を感じる。また北海道工場で生産するカバ材を使ったNorthern Forestシリーズにはアンティークファンにも人気のキッチンチェアが登場。白の拭取り仕上のカジュアルなデザインが特徴。



SEBASTIAN CONRAN GIFU COLLECTION by Sebastian Conran

日進木工の大人の インテリアSALLA

日進木工ではコントラクト市場を意識してSALLAシリーズを復刻。モダンな中にもどこか背すじの伸びた日本の凛々しさを宿すデザイン。美しさと機能性とのバランスのとれたシックな家具は、現代の暮らしにマッチした、大人のインテリアを実現します。馬蹄形の椅子を中心に新しいデザインのソファも加わり成熟した形での再デビュー。



SALLA by nisshin

KASHIWAの家具作り アメリカの家具が原点

フロントには挽物や曲木の技術を取り入れて制作された試作のソファとグッドデザイン賞を獲得した椅子が飾られた。新作はCHICやMONAシリーズにソファやオットマンが新登場。CHICソファはカバーリングのシンプルなソファ。MONAソファは座り心地を追求した多層ウレタンとコイルクッションのシートや木目を美しく表現するデザインが特徴。



PARNA SOFA / LOOP CHAIR by kashiwa

イバタインテリアの 家族に合わせて「選ぶ」

新作は海外生産で価格を抑えたダイニングセット。ハーフアームの部分をテーブルの上に乗せ掛ければ、お掃除ロボットも床を掃除できる。Raffineシリーズでは回転チェアも好評でイバタらしい存在感のある家具。飛騨の生産品では「With」と題してチェアやベンチ、テーブルが選べるセレクトシリーズの提案など、売り場のポップも充実していた。



With by ibata

岩倉榮利氏デザイン シラカワ「飛騨の森」

シラカワでは岩倉榮利氏デザインの「凛」と「泊」シリーズが披露。「飛騨の森」と題して飛騨の匠という名を知らしめた祭り屋台の比類なき技、町家の洗練された造形。漆の優美な輝き、そして良材の宝庫。それらすべてが、暮らしを支える精神文化の母なる「飛騨の森」からの贈り物。「凛」はきりっとして、りりしい「泊」はゆったりくつろぐデザインです。



Rin by Eiri Iwakura

Kitani Style 50th Anniversary 2017

今年は日本・デンマーク外交関係樹立150周年の年にあたりホールでは飛騨高山フィン・ユール邸で開催された「夏休み親子でも参加できる写生大会」の作品をバックにキタニの椅子が展示され、本社では創業50周年を迎えるキタニの家具製作の歩みやキタニが提案する北欧デザイン「和を感じる北欧デザインのある暮らし」や藍染じゅうたんを展示。



Eazy Chair by Finn Juhl

業務用家具メーカー 耐久性や独創的発想

コントラクトを中心に業務用の家具を生産するプラスワン。画一的な量産品ではない、独創的な商品を得意とするし、多様化と個性化へと増々シフトしている中、そのニーズが集約されている重要な商用空間や老人福祉施設などで、何が求められるかを察する感受性は重要だ。常に人にやさしい快適空間づくりを目指している。



ホテルやカフェなどで使われているサンプルを展示

飛騨の家具フェスティバル HIDA no KAGU HOTEL

ホール中央にホテルが登場。このホテルのテーマは自然と生きること。木の香りのするパーテーションに囲まれた気持ちのやすらぐ空間に、光と緑のランジが広がっています。木そのもののように大きなテーブルのあるダイニングカフェ。座り心地の良い安楽椅子を備えたランジ。光の降り注ぐカフェスペース。そして快適なベッドルーム。モダンなインテリアのなかに、3000 メートル級の山々に囲まれる飛騨の地で育まれた、ウッドの家具たちがたたずんでいます。



各メーカーの椅子を同じオレンジ色の張地で統一



飛騨の家具アワード 家具デザインコンテスト



企画展示インテリアスタイルは黒田美津子さん

2017
No.786
SEPTEMBER
大阪府家具連合会

家具タイムズ

2017年9月号

昭和 27 年 3 月 20 日創刊
平成 29 年 9 月 25 日発行

